

授業評価 2015 (前期) T1L: 工学部メディカルシステム工学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.79(2015-09-11) by Yas

2015 年度前期 工学部メディカルシステム工学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1L001001	メディカル工学セミナー	1 年前期木曜 2 限	兪 文偉他	T1L 1
T1L101101	デジタル回路	3 年前期月曜 2 限	大沼 一彦	T1L 2
T1L104001	生体生理工学 I	1 年前期月曜 4 限	五十嵐 辰男	T1L 3
T1L118001	信号処理論	3 年前期木曜 3 限	山口 匡他	T1L 4
T1L136001	メディカルシステム実験 II	3 年前期月曜 3,4,5 限	中口 俊哉	T1L 5
T1L148001	通信工学概論	3 年前期水曜 3 限	高橋 応明	T1L 6
T1L152001	プログラミング特講 I	2 年前期火曜 5 限	菅 幹生	T1L 7
T1L161001	システム制御工学 I	3 年前期水曜 1 限	兪 文偉	T1L 8

授業科目名	: メディカル工学セミナー
担当教員	: 兪 文偉, 川平 洋, 川村 和也, 大西 峻
年次・開講時限	: 1 年前期木曜 2 限
授業コード	: T1L001001
授業アンケート	: 回答者数 46 人 / 受講者数 54 人 (回収率 85%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q4. Q3 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 18 件)

Q3 に「はい」でないと答える学生は, 45 人中 19 人がいることで, 講義の聞き取りやすさにおいて, 改善の余地があると考えています。来年度担当の教員に伝えます。

Q6. Q5 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 17 件)

Q5 に「はい」でないと答える学生は, 45 人中 16 人がいることで, 講義用スライドの見やすさにおいて, 改善の余地があると考えています。来年度担当の教員に伝えます。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか?(回答 45 件)

Q15 への答えは「はい」11 人「ややそういえる」24 人, それ以外 7 人となっていますので, 理解度は, 期待より低いと認識しています。改善が必要です。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

本授業は, 計 20 名の教員の研究紹介, 生体計測基礎実験, 5 分間プレゼンから構成される動機付けの科目です。教員と学生双方の努力で, 今後授業の効果を更に改善できると考えています。

教員は, フロンティア医工学センター, メディカルシステムコース, メディカルシステム工学科, そして, 各研究室の研究を, 短い時間内紹介しようとしており, 一部分の学生の理解できる範囲を超えていた可能性が高いです。今後, 研究の内容を選択的に, 分かりやすく説明するなどの工夫によって, 改善してけると思います。

学生は, 本授業を日進月歩の医工学分野を概観するいい機会と考え, 高い意欲と集中力で授業に参加できれば, より高い理解度が達成できると思います。

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 兪 文偉

授業科目名	: デジタル回路
担当教員	: 大沼 一彦
年次・開講時限	: 3 年前期月曜 2 限
授業コード	: T1L101101
授業アンケート	: 回答者数 24 人 / 受講者数 45 人 ( 回収率 53% )

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。( 回答 2 件 )

ほぼ前提的にはよいアンケート結果となっていると思われる。唯一、不満のある頃は改善すべき点について、である。課題のレポートを読む時間を取るのが、難しく、即対応ということができなかった。改善したいのであるが、難しそうなので、今後は、回答も moddle に載せようと思う。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業資料を授業の始まる前までに、moddle で見れるようにしてあり、欠席しても問題ないように配慮している。また、課題も授業で出てきた内容に沿って、復習するものとなっている。また、他の先生のホームページを紹介し、私の授業では理解できないことがあっても自習できる形をとっている。学生がみているかどうかは不明であるが、最終的にはテストで達成度を見ているが、それなりの知識は持っているとと思われる。

### 3. その他のコメントや連絡事項

この授業はデジタル回路を初めて学ぶ人に、基本的なデジタルでの処理の考え方、回路素子の構造と性質を習得してもらい、最終的に計算機の基本構造と、プログラムの役割の関係を認識してもらおうのが、目的である。ぜひ、この授業で習得した知識を使って、自分で回路を組み立てて、実践の中で、知識を確かなものにしていただきたい。

作成 ( 者 ): 大沼一彦

授業科目名	: 生体生理工学 I
担当教員	: 五十嵐 辰男
年次・開講時限	: 1 年前期月曜 4 限
授業コード	: T1L104001
授業アンケート	: 回答者数 47 人 / 受講者数 55 人 ( 回収率 85% )

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? ( 回答 47 件 )

Q 5. の平均点は 4.34 で良かったと思いますが, Q6. では板書の文字が読み難いという回答が多かったので, 習字を始めたいと存じます。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

全体を通して, Q26 までの平均点が算出される 22 項目のうち, 4 点以上の項目が 16 項目 ( 73 % )、3 点台が 4 項目 ( 18 % ) であるので, 概ね授業内容をご理解いただけただけのではないかと考えます。2 点台の 2 項目は Q13、Q14 ですので, 復習にかかる時間と質問の有無のばらつきが大きいのことがわかります。これを改善するためにはさらに少人数のクラス編成が必要となるかと思われるので, 今後の検討課題とします。

### 3. その他のコメントや連絡事項

ヒトを対象とする医工学を志すにあたり, 最低限の解剖・生理学の正しい知識を得る方法を短期間に習得することを授業の目標に掲げております。単なる暗記でなく, 科学的な態度で情報を集めて整理することを学ぶための方法として, グループごとの集団学習を行っていますが, 年々学生のスキルが上昇しているように見受けられます。今年のアンケート結果もこの手法が支持されているように思われますので ( 平均点 4.07 )、来年度も同様の方式を踏襲したいと存じます。声が大きい聞き取り難いのは, 私の言語障害に基づくものであり, これは生来の傾向ですのでご容赦ください。訓練しない言語は難しいです。

作成 ( 者 ): 五十嵐辰男

授業科目名	: 信号処理論
担当教員	: 山口 匡, 吉田 憲司
年次・開講時限	: 3 年前期木曜 3 限
授業コード	: T1L118001
授業アンケート	: 回答者数 23 人 / 受講者数 43 人 ( 回収率 53% )

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? ( 回答 21 件 )

95%を超える受講生が教材に満足している ( 不満は 0% ) であるが, より一層の改良を加えていく.

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? ( 回答 23 件 )

95%の受講生から良好な評価を得ているが, 例外がややわかりづらいとの回答が 5%弱あったため, さらなる工夫を行う.

Q12. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか? ( 回答 23 件 )

準備・復習の時間が短い傾向にあるため, より早期の教材提示を心がける.

2. 授業アンケート全体に対するコメント

全体的に講義への満足度が高い結果となっている. 本年度は内容を絞り込んで進行度を若干遅くして, 講義中にも復習ができる形態をとっていたことで理解度が高かったものと思われる. 理想的には, 応用例をもう少し紹介したいと考えているため, 受講生が自主的に復習の時間を設けてくれるのが望ましい. そのための工夫をしていきたい.

3. その他のコメントや連絡事項

作成 ( 者 ): 山口 匡

授業科目名	: メディカルシステム実験 II
担当教員	: 中口 俊哉
年次・開講時限	: 3 年前期月曜 3,4,5 限
授業コード	: T1L136001
授業アンケート	: 回答者数 22 人 / 受講者数 47 人 ( 回収率 47% )

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? ( 回答 22 件 )

「はい」が 9% と低い点が気になった。「ややそう言える」まで含めると 80% を超えるが、昨年に続きいまだ完全な理解に至っていない状態が続いていることが判明した。関連授業との連携、予習の促進、実験中に解説や資料の充実などさらなる改善が必要である。

Q17. TA ( ティーチングアシスタント ) がいた場合、この演習・実験・実習科目の理解に役立つように人数が確保されていましたか? ( 回答 21 件 )

昨年は否定的な意見が 30 % を超えていたが今年は 5% 以下と大きく改善した。TA に対する不満のコメントもなかったことから状況の改善を確認できたと言える。実験科目において TA の活用は重要であるので引き続きこの状態を維持したい。

Q25. 実験・演習施設及び実験器具などは整備されていましたか? ( 回答 21 件 )

半数近い学生が不満に感じていることがわかった。設備の改善が急務であるので対処したい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

自由記述でも実験設備の不具合について多くの指摘があった。経費を充当して学生実験の環境改善に努める。

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成 ( 者 ): 中口

授業科目名	: 通信工学概論
担当教員	: 高橋 応明
年次・開講時限	: 3 年前期水曜 3 限
授業コード	: T1L148001
授業アンケート	: 回答者数 17 人 / 受講者数 35 人 (回収率 49%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 16 件)

8 割以上が見やすいと回答しており, 問題ないと思う.

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 15 件)

「はい」の回答が 6 割, 「ややそういえる」が 4 割で, 肯定的であり, 今後も受講生に分かり易い例などを用いて説明していきたい.

Q16. 全体を通して, この授業に満足しましたか? (回答 16 件)

「はい」の回答が 7 割, 「ややそういえる」が 3 割で, 講義の満足度は高いと思われる. 今後も, 学生が理解できるよう, 講義を工夫していきたい.

2. 授業アンケート全体に対するコメント

その他のアンケート項目も肯定的であるため, 今後も引き続き学生が興味を持ち, 理解していけるよう, 講義を工夫していきたい.

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 高橋 応明

授業科目名 : プログラミング特講 I (旧名称「プログラミング基礎」)  
担当教員 : 菅 幹生  
年次・開講時限: 2 年前期火曜 5 限  
授業コード : T1L152001  
授業アンケート: 回答者数 30 人 / 受講者数 51 人 (回収率 59%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 29 件)

「はい」と「ややそういえる」を合わせると 76%、「どちらともいえない」を合わせると 90%となった。この講義の前に習う文法と深く関係し、その本質を効率的に理解してプログラムを書けるように毎年資料を更新している成果の表れと考えられる。余裕のある学生は教科書の例題を含めて学習することで、さらに力が付くと思われる。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 29 件)

「いいえ」の回答が 41%と多かった。講義内容をしっかり理解できたために質問をしなかった人もいるかと思うが、そうで無い人は TA も活用して積極的に質問をして欲しい。

Q20. 各実験を行う前に、十分なガイダンスが実施されていましたか? (回答 16 件)

「どちらともいえない」が 50%と高い値となった。来年度以降には、もう少し時間を割いてガイダンスをするようにしたいと思う。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

文法の理解には本講義が有効であることが確認できた。各自教科書の演習問題を解くなど、時間を確保して演習量を増やして、力を付けて欲しいと思う。

### 3. その他のコメントや連絡事項

「課題の量が多い」との意見があった。慣れない間は大変と思うが、この分量をこなせないと 2 年次後期からの実験 I のプログラミングについて来られなくなります。他の講義のレポートもあり大変かと思いますが、是非時間を作って取り組んでください。

作成(者): 菅幹生



授業科目名	: システム制御工学 I (旧名称「システム制御理論」)
担当教員	: 兪 文偉
年次・開講時限	: 3 年前期水曜 1 限
授業コード	: T1L161001
授業アンケート	: 回答者数 22 人 / 受講者数 43 人 (回収率 51%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 21 件)

本授業の進度は、いつも速すぎると評価されています。今年度のアンケートの結果、21 名中、「どちらとも言えない」、「あまりそういえない」、「いいえ」と答える人は、合わせて 2 名ですので、内容の組みなおしなどの工夫が一定の効果があると認識しています。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 21 件)

とくに「ややそういえる」と答える人は、21 名中 15 名がいることで、理解度は、期待より低いと認識しています。引き続き、改善していきたいと考えています。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 21 件)

21 人中 14 名の予習・復習の時間は、1-2 時間、或いはそれ以下となっています。実際そうであれば、不足です。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

学生に興味を持ってもらい、予習・復習時間が増えるように、工夫する必要があります。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 兪 文偉